

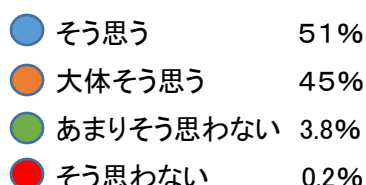
## 令和6年度 学校評価アンケート(7月実施)の結果

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

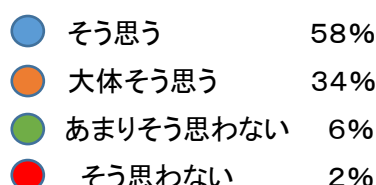
さて、7月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者に対してはすぐーるを利用し、スマホから直接アンケートに回答できるようにした結果、514の回答(回収率69%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## ① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。

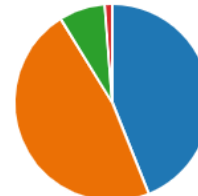
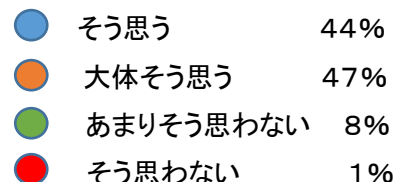
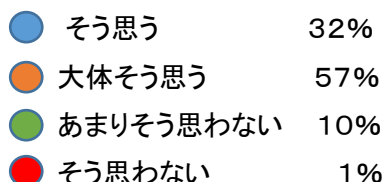


## (児童)学校が楽しい。



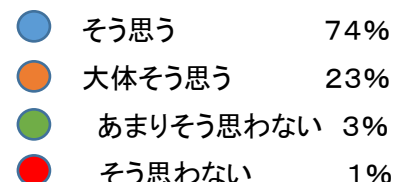
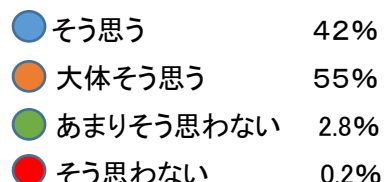
92%の児童が「学校が楽しい」と思ってくれていて、たいへん嬉しく思います。しかし、「あまりそう思わない・そう思わない」と答えた児童が8%いることは気になります。児童数にすると57名です。集団生活の中では、人それぞれに、様々な困りがあると思います。少しでもその困りを解消し、一人一人が安心できる居場所をつくれるように創意工夫していきたいと思っています。そして、「明日も学校に行くのが楽しみだ」とすべての児童が思えるように、日々の教育活動を進めていきたいと思っています。

## ② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。



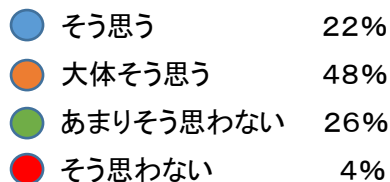
基礎的な学力を定着させる第一歩は「よくわかる授業」です。児童の約90%が「授業がよくわかる」と答えています。しかし、「わかる」と「できる」には違いがあります。基礎学力のさらなる向上を目指し、児童一人一人の様子をしっかりと見取り、継続的に支援を続けることで「できる」ことを増やしていきます。

## ③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。

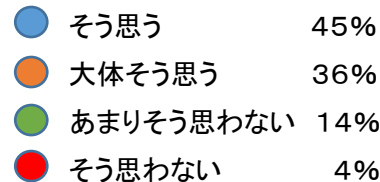


児童の様子を見ていると、困っている子に声をかけたり、上級生が下級生をやさしく見守ったりしている姿がたくさん見られます。自分自身でも「大切にしている」という自覚があることを嬉しく思います。一方で、ほんの少しですが、大切にできていないと感じている児童がいるのも事実です。人を大切にすることは、具体的な行動や言葉かけを示していくことで、思いやる気持ちを育んでいきたいです。そして、教職員や保護者の方など、身近な大人が「人を大切にする姿勢」を示し続けたいですね。

④ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでしている。

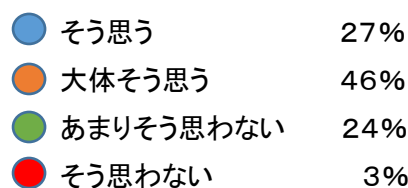


(児童)自分から進んで挨拶をしている。

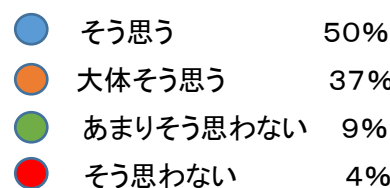


あいさつをすると返す子どもは増えてきていますが、“自分から”となるとまだまだ少ないです。あいさつはコミュニケーションの第一歩として大切なことです。これからも大人がお手本となり、積極的にあいさつを声をかけ、家庭や学校でのあいさつを習慣化していくことで、だれに対しても自分から進んであいさつができる子を育てていきたいです。

⑤ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。

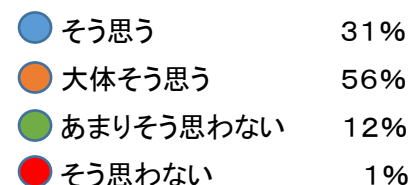


(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。

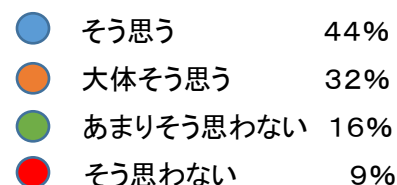


87%の児童が進んで家庭学習に取り組んでいると答えています。今年度からは、宿題に関しても自主的に、計画的に取り組めるように各学年で出し方を工夫しています。ただ、様々な事情により、できないこともあるかと思います。担任と相談しながら、無理のない範囲で取り組んでほしいと思っています。

⑥ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。

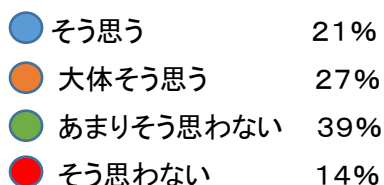


(児童)家の人に学校での様子を話している。

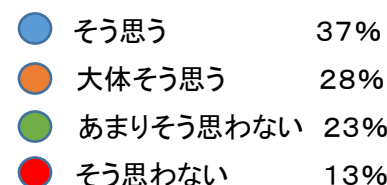


ホームページやおたより、子どもの話などから、ある程度学校での様子が伝わっているように感じますが、アンケート結果からは様子がわからないというご家庭もあります。引き続き、学習や学校生活の様子をホームページ等でお伝えし、子どもたちの成長をともし見守っていただくとともに、ご家庭での会話のきっかけになればと思います。

⑦ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が身についている。

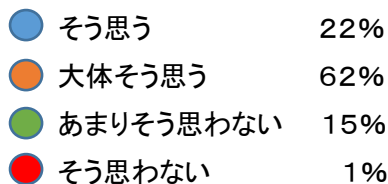


(児童)家で進んで読書をしている。

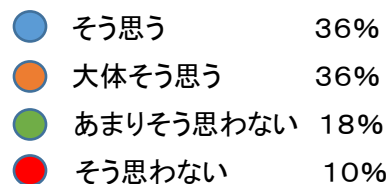


保護者が感じられている以上に、子どもたちは家でも読書をしていると感じていることがわかりました。一方で、本を読んでいないと思っている児童が多いのも事実です。テレビ、ゲーム、スマホ、YouTubeなどに時間がとられがちな現代ですが、週に1度でも時間を決めて、親子で一緒に本を手に取り、読書をする時間ももっていただけたらありがたいです。

⑧ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いて  
くれたり相談に乗ってくれたりしている。

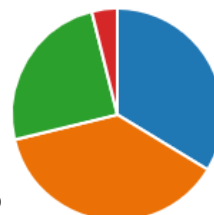
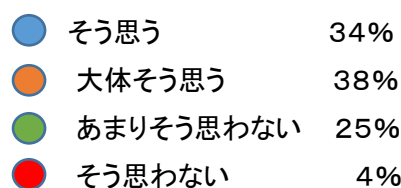


(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したり  
している。

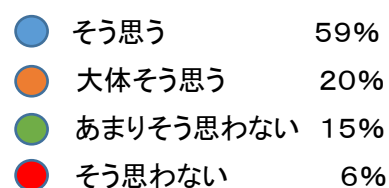


「先生に話したい。」「相談したいのにできない。」と思っている児童や保護者がいる現状は改善していかなければなりません。今年度は、3年生以上でチーム担任制を始めました。複数担任にすることで、相談できる教員が増え、相談しやすくすることもねらいの一つです。保護者も子どもも担任が交代することにまだ慣れないかと思いますが、教職員誰にでも話しやすい学校づくりを心掛けていきます。

⑨ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が  
身についている。

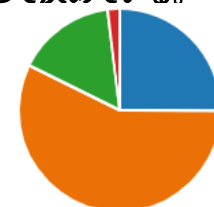
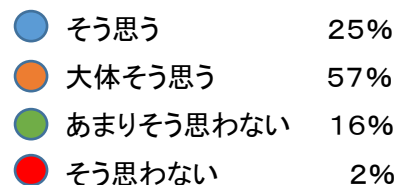


(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。

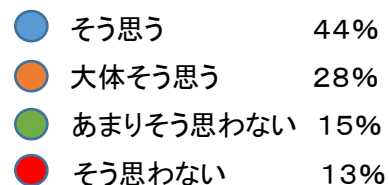


今年度も猛暑の影響で7月に入ってから休み時間や放課後遊び、部活動などに制限をかけざるを得ない日が多く、学校でも室内で過ごす児童が増えています。涼しくなってきたら、委員会活動などとも連携し、積極的に体を動かす機会を増やせるように働きかけていきたいと思っています。

⑩ (保護者)テレビやゲーム、インターネットなどの  
使い方のルールを話し合っている。

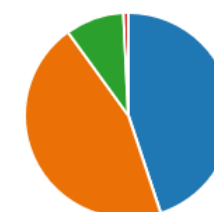
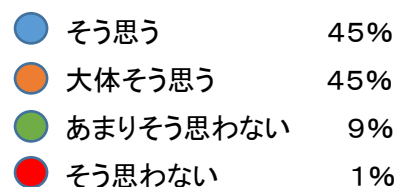


(児童)テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて  
行っている。

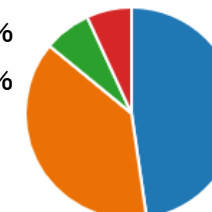
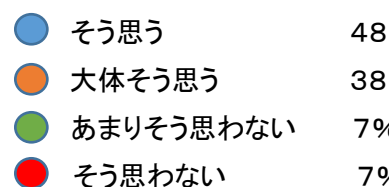


近年、インターネットを介したトラブルが大変多くなっています。これからの時代、情報機器を使わないという選択肢はないので、「深小ねっとルール」も活用いただき、使い方のルールを親子でしっかりと話し合い、どのように使っていくのかを学んでほしいと思います。学校でも、情報リテラシーや情報モラルについての教育をより一層充実させていきます。

⑪ (保護者)子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・  
朝ごはん)が身についている。



(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校  
している。



保護者・児童ともに、1割程度ができていないと感じておられます。上記の質問⑩でそう思わないと回答していた児童のうち、40%がこの質問でもそう思わないと回答しています。この機会に、親子で一緒に、寝る時刻や起きる時刻の目標を話し合い、生活リズムを整えて、元気に学校に来てくれるのを待っています。

次回は12月に学校評価アンケートを実施する予定です。どうぞ協力よろしくお願いいたします。  
それまでに、何かご意見などありましたら、いつでも遠慮なくご連絡ください。